

VII 下水道経営分析

1 岐阜市下水道事業業務実績表

令和8年3月31日

項 目		本 年 度	前々年度	前年度に 対する比率	す う 勢 比 率		備 考
			前 年 度		本 年 度	前 年 度	
行政区域内人口		396,258 人	399,492 人 397,670 人	99.6	99.2	99.5	年度末現在推計市内人口
処理区域内人口		373,960 人	376,080 人 374,810 人	99.8	99.4	99.7	年度末現在
水洗化人口		325,740 人	327,380 人 326,410 人	99.8	99.5	99.7	年度末現在 （水洗便所設置済人口）
普及率		94.4 %	94.1 % 94.3 %	100.1	100.3	100.2	処理区域内人口 / 行政区域内人口
水洗化率（人口）		87.1 %	87.1 % 87.1 %	100.0	100.0	100.0	水洗化人口 / 処理区域内人口
処理区域内戸数		195,280 戸	192,230 戸 193,360 戸	101.0	101.6	100.6	年度末現在
水洗化戸数		168,999 戸	166,338 戸 167,527 戸	100.9	101.6	100.7	年度末現在
水洗化率（戸数）		86.5 %	86.5 % 86.6 %	99.9	100.0	100.1	水洗化戸数 / 処理区域内戸数
下水管総延長		2,308.0 km	2,300.3 km 2,305.1 km	100.1	100.3	100.2	
内 訳	汚水管	2,264.1 km	2,256.7 km 2,261.3 km	100.1	100.3	100.2	
	雨水管	43.9 km	43.6 km 43.8 km	100.2	100.7	100.5	
業 務	年間総処理水量	43,759,520 m³	44,706,465 m³ 43,895,571 m³	99.7	97.9	98.2	単独公共下水道のみ
	一日最大処理水量	120,406 m³	142,857 m³ 136,436 m³	88.3	84.3	95.5	単独公共下水道のみ
	一日平均処理水量	110,677 m³	110,435 m³ 109,257 m³	101.3	100.2	98.9	単独公共下水道のみ
流域関連公共下水道 総処理水量		11,401,849 m³	11,402,385 m³ 11,382,075 m³	100.2	100.0	99.8	浄化センター流入汚水量
年間総有収水量		41,272,100 m³	42,232,482 m³ 41,780,858 m³	98.8	97.7	98.9	
有収率		74.8 %	75.3 % 75.6 %	98.9	99.3	100.4	年間総有収水量 / 年間総処理水量
職員数		91 人	93 人 93 人	97.8	97.8	100.0	年度末現在 （臨時職員を除く）
1 m³あたり使用料単価		151.5 円	137.2 円 144.3 円	105.0	110.4	105.2	下水料金 / 年間総有収水量
1 m³あたり汚水処理原価		136.1 円	127.9 円 135.2 円	100.7	106.4	105.7	汚水処理費 / 年間総有収水量

注1 すう勢比率は令和5年度を基準年度とする。

2 下水道事業主要経営比率

(1) 令和3～7年度の推移

年 度 項 目	岐阜市					全 国 平 均(公 共 下 水 道)		
						法適企業 1176事業所	法非適企業 11事業所	合 計 1,187事業所
	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度	6 年 度	6 年 度	6 年 度
行政区域内人口 (人)	402,965	401,294	399,492	397,670	396,258	102,386	4,735	101,482
全体計画人口 (人)	378,360	378,360	378,360	324,140	313,680	85,254	7,434	84,533
現在水洗便所設置済人口 (人)	328,930	327,980	327,380	326,410	325,740	79,785	2,310	79,067
現在処理区域内人口 (人)	379,200	377,800	376,080	374,810	373,960	83,109	2,133	82,358
普及率 (%)	94.1	94.1	94.1	94.3	94.4	81.2	45.0	81.2
水洗化率 (%)	86.7	86.8	87.1	87.1	87.1	96.0	108.3	96.0
下水管布設延長 (km)	2,292	2,297	2,300	2,305	2,308	379	16	376
汚水管 (km)	2,249	2,254	2,257	2,261	2,264	280	16	277
雨水管 (km)	43	43	43	44	44	47	0	46
合流管 (km)	0	0	0	0	0	53	0	52
*現在晴天時処理能力 (m³/日)	170,600	168,100	168,100	167,000	167,000	32,113	491	31,820
*現在晴天時平均処理水量 (m³/日)	110,882	109,516	110,435	109,257	110,677	19,676	216	19,496
*終末処理場施設利用率 (%)	65.0	65.2	65.7	65.4	66.3	61.3	44.1	61.3
年間総処理水量(汚水分) (千m³)	56,931	56,036	56,109	55,278	55,161	11,089	131	10,988
年間総有収水量 (千m³)	43,406	42,933	42,232	41,781	41,272	8,857	88	8,776
有収率 (%)	76.2	76.6	75.3	75.6	74.8	79.9	67.2	79.8
職員1人当りの汚水処理水量 (千m³)	647	659	645	643	641	771	206	766
使用料単価 (円/m³)	136.81	137.29	137.25	144.28	151.53	137.85	173.34	138.18
処理原価 (円/m³)	127.53	129.01	127.94	135.18	136.14	140.76	386.95	143.04
内維持管理費分 (円/m³)	69.36	72.25	70.16	77.97	79.41	82.68	344.97	85.11
内資本費分 (円/m³)	58.17	56.76	57.78	57.21	56.73	58.08	41.97	57.93
汚水処理費に対する使用料割合 (%)	107.28	106.41	107.28	106.73	107.29	97.93	44.80	97.44
内維持管理費汚水処理費割合 (%)	197.25	190.01	195.62	185.05	183.94	166.72	50.20	165.64
固定資産対長期資本比率 (%)	101.6	102.2	102.2	102.3	101.9	100.8	—	—
企業債元金償還金対料金収入比率 (%)	60.4	60.0	58.9	54.3	52.2	86.0	—	—
企業債利息対料金収入比率 (%)	13.9	12.6	11.8	10.7	10.3	12.8	—	—
企業債元利償還金対料金収入比率 (%)	74.3	72.6	70.8	65.0	62.5	98.8	—	—
職員給与と費対料金収入比率 (%)	11.7	10.0	10.3	10.5	10.9	9.2	—	—

注 (1) 決算統計による数値により算出。

注 (2) * 印の項目については単独公共下水道のみの数値。

(2) 下水道事業の主要経営比率の算出方法

$$\text{① 普及率} \quad (\%) = \frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$$

$$\text{② 水洗化率} \quad (\%) = \frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$$

$$\text{③ 終末処理場施設利用率} \quad (\%) = \frac{\text{現在晴天時平均処理水量 (m}^3\text{/日)}}{\text{現在晴天時処理能力 (m}^3\text{/日)}} \times 100$$

※単独公共下水道のみ

$$\text{④ 有収率} \quad (\%) = \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総処理水量}} \times 100$$

$$\text{⑤ 使用料単価} \quad (\text{1m}^3\text{当たり円}) = \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総有収水量}} \times \text{料金}$$

$$\text{⑥ 処理原価} \quad (\text{1m}^3\text{当たり円}) = \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総有収水量}} \times \text{費用}$$

$$\text{⑦ 固定資産対長期資本比率} \quad (\%) = \frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$$

$$\text{⑧ 企業債元金償還金対料金収入比率} \quad (\%) = \frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{下水料金}} \times 100$$

※建設改良のための企業債元金償還金の内特定資金公共事業費を除く

$$\text{⑨ 企業債利息対料金収入比率} \quad (\%) = \frac{\text{企業債利息}}{\text{下水料金}} \times 100$$

$$\text{⑩ 企業債元利償還金対料金収入比率} \quad (\%) = \frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{下水料金}} \times 100$$

※建設改良のための企業債元金償還金の内特定資金公共事業費を除く

$$\text{⑪ 職員給与費対料金収入比率} \quad (\%) = \frac{\text{職員給与費}}{\text{下水料金}} \times 100$$

